

アンケート結果から紐解く、情報漏えい対策の“次なる一手”

UNIRITA

Magazine

ユニリタマガジン

7

JUL 2015

今、企業がとるべき
情報漏えい対策とは？

株式会社香川県農協電子計算センター様導入事例

システム管理者の会/Beaconユーザ会

「Waha! Transformer」最新バージョンVer5.0リリース!

ウェビナーユニリタがパワーアップ!

ユニリタ
イメージキャラクター
ホラン千秋

今、企業がとるべき 情報漏えい対策とは？

「アンケート結果から紐解く、情報漏えい対策の“次なる一手”」

昨今、企業や官公庁等の組織からの個人情報や機密情報の流出が後を絶ちません。その内容も、従来のオペレーションミス、持ち物紛失等の「ついうっかり型事故」から、社員、委託先も含めた内部犯行等による「悪意ある確信犯型事件」へ深刻化しています。

万が一、情報漏えいが発生した場合は経済的な損失だけでなく、社会的な信用の失墜を招き、企業存続にかかわる重大な事件となります。各企業の漏えい対策に関するアンケート結果から、“次なる一手”を導き出していきます。

企業を取り巻く環境および、情報漏えい対策の変遷

現在、各業界の企業は、企業競争力強化など、様々な理由で業界・組織再編を繰り返しています。また、競争力強化の一環でモバイル・ソーシャル・ビッグデータ・クラウドといった第三のプラットフォームの本格的利用が進んでいます。この変化により、情報セキュリティ担当者はクラウド・オンプレミス環境が混在したシステムに対して、いかにしてセキュアな情報漏えい対策を講じるかが課題となっています。

2005年に全面施行された個人情報保護法の対応、次にアメリカでのエンロン粉飾決算に端を発し、2008年に新たな内部統制のルールとして施行された「J-SOX（日本版SOX法）」と、日本でビジネスしている企業は、これらの施工・改訂にあわせて情報漏えい対策を実施してきました。

しかし、昨今発生している情報漏えいは、先日発生した某公法人、昨年度発生した某通信教材販売企業に代表されるように、“社内外からの悪意をもった確信犯型犯罪”にシフトしています。日本企業の多くは、今まさにこの確信犯型犯罪への対応が求められています。

「確信犯型犯罪」に対応する為に必要な情報漏えい対策とは？

「情報漏えいを100%させない完璧な対策は可能なのでしょうか？」と問われたら、残念ながらその答えはNOです。ただし、情報漏えいを可能な限り発生させない工夫をする事はできると思います。

下図のアンケートは、シンクタンクのIPAが発表した、内部不正行為対策を実施している経営者、システム管理者に「効果があると思う対策」、そして社員向けに「効果が期待できる対策」として尋ねた結果の相関図です。

このデータの着目すべき点は、多くの経営者、システム管理者が「アクセス制御とID/パスワード管理」は効果があると答えているのに対し、実際にチェックされている側の社員は「証跡管理、監視そしてパスワード管理」は効果が期待できると答えている点にあります。

つまり、「ID、パスワードの管理」は、経営・管理側、社員で共通する対策要素なのに対し、「証跡管理と監視」は社員のみ、内部不正への気持ちが低下する・効果が期待できる対策と答えています。ここからは具体的にどういった対策を行えばよいかを考察していきたいと思います。

担当者紹介



営業本部 東日本営業二部
プリセールスグループ
グループリーダー 佐々木 勉

私は、1999年に入社して以来16年にわたり、主にデータ連携領域、データ活用領域、情報セキュリティの領域の技術者としてお客様への提案活動、セミナー講師から製品の教育および受託開発業務と様々な仕事をさせていただきました。お客様へは今回掲載した領域をはじめ、ユニリタが提供できるすべての領域を加え、お客様からご賛同いただけるようなコンセプトで情報をお届けしていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いたします。

情報漏えい対策に関するアンケート結果

| 効果が期待できる対策の順位 | | 効果があると思う対策の順位 | |
|---------------|------------------|---|---|
| 順位 | 割合 ^{※1} | 内容 | 対応項目に対する経営者・管理者の結果 順位 割合 ^{※2} |
| 1位 | 54.2% | 社内システムの操作の証跡が残る | 19位 0.0% |
| 2位 | 37.5% | 顧客情報などの重要な情報にアクセスした人が監視される (アクセスログの監視等を含む) | 5位 7.3% |
| 3位 | 36.2% | これまでに同僚が行ったルール違反が発覚し、処罰されたことがある | 10位 2.7% |
| 4位 | 31.6% | 社内システムにログインするためのIDやパスワードの管理を徹底する | 3位 2.7% |
| 5位 | 31.4% | 顧客情報などの重要な情報を持ち出した場合の罰則規定を強化する | 10位 11.8% |

※1 内部不正への気持ちが低下すると回答した回答者の割合。

(社員：n=3,000、経営者・管理者：n=110)

※2 効果が見込める対策と回答した回答者の割合。

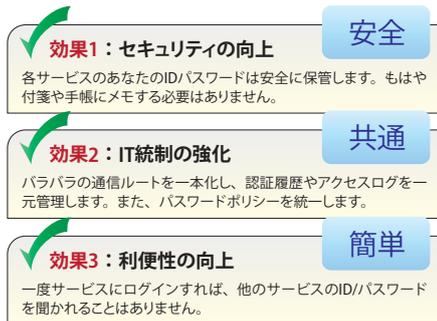
出展：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
「組織内部者の不正行為によるインシデント調査」調査報告書

情報漏えい対策要素その1 「ID、パスワードをいかに守るか」

現在、システムのクラウド化の潮流の中、一般の社員が利用しているシステムの平均数は、19.4個といわれています。それに対して人が覚えらるパスワードは脳科学的に3.1個といわれています。つまり、多くのユーザがパスワードの組み合わせを数パターンに分け使いまわしていることとなります。これらの問題を解決するには、セキュアかつ簡単にエンドユーザのシステム利用を統制、管理する仕組みが必要となります。パスワード

の使いまわしを改善するには、シングルサインオンやID管理の仕組みを導入し、ID、パスワードを守るだけでなく、エンドユーザの利便性向上も両立させることが重要です。

シングルサインオンとID管理で3つの効果を!



「あったら便利」
 ではなく
 「なければいけない」
 という時代

■ユニリタが提案するソリューション

ガバナンス強化とワークスタイル変化の両立を実現するポータル&ID統合管理ソリューション

ソリューションを構成する製品

●infoScoop SSO

ポータルに一度ログインするだけで、複数の業務アプリケーションを利用できる統合的な認証基盤を提供します。

●infoScoop ID Manager

社内外に散在するシステムのユーザIDを統合管理します。アカウントのライフサイクルを一元管理し、ID管理のコストを大幅に削減、さらに不正アクセスの脅威から守ります。

●ID管理に関するコンサルティング

子会社を含む、統合的なID管理が求められています。他社の取り組みを参考に、対象企業に最適なID管理の方針を立てます。

情報漏えい対策要素その2 「証跡・監視に監査ログを利用し、予防的統制と教育に活用」

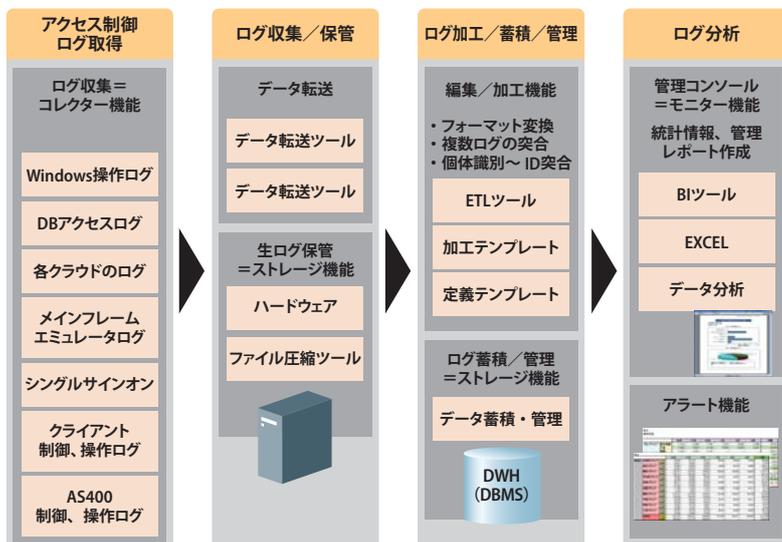
多くの企業は、過去の情報漏えい対策において、証跡管理に監査ログを取得してきました。

しかし、弊社実施のアンケートによると、多くの企業は事故発生時の調査用データとして保管していることが多く、活用しきれていないのが実態のようです。データを活用する際は、監査ログだけではなく、個人・組織のデータや、作業申請書との突合処理等、複数のデータのかけ合わせによって、初めてエンドユーザがわかるデータになる事が多く、これらのデータを手軽に作成できる仕組みが必要となってきます。

エンドユーザの方には、予防的統制として「システムを使った日々の業務は監視されており、証跡も残している」という事を広く周知する事が有効と考えます。また、アクセスレポートを組織ごとに定期的に配信する事も効果的です。従来溜める事だけを目的としていた監査ログを、内部犯行防止の観点で活用することを推奨します。

■ユニリタが提案するソリューション

ログの収集/保管～ログ加工/蓄積/管理～ログ分析まで、トータルなログの活用を支援する監査証跡ソリューション



ソリューションを構成する製品

●Waha! Transformer

大量の監査ログの高速処理を実現し、別データとして存在する社員・組織マスタや、作業申請書の突合を実現する事により、監査ログを予防的統制や教育資料の情報源として活用することが可能です。

●A-AUTO

ハードウェア、アプリケーション、ネットワーク機器、通信環境などから発生する膨大なログデータを「収集して統合する」、「圧縮して保存する」、「高速・高精度検索する」、さらに「効果的に集計・分析・レポート化する」など、ログの統合管理に必要なあらゆる機能を高レベルで提供します。

●Be.Learning

セキュリティへの意識を高めるには社員一人一人が反復して学習することが重要です。eラーニングツール「Be.Learning」により、自社に適した実践的な教育を行うことができます。



株式会社香川県農協電子計算センター様

COBOL からの脱却!!

帳票基盤オープン化への挑戦

システム再構築でパフォーマンスが格段に向上



背景

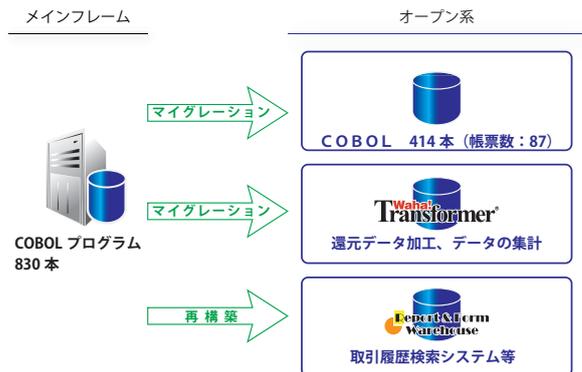
脱メインフレーム、オープン環境へのマイグレーション

株式会社香川県農協電子計算センターでは、1981年から県ホストコンピュータ(メインフレーム)上で香川県内JAの信用事業オンラインシステムを稼働させ、2002年からはJAバンクの全国統一システム「JASTEM」へ移行し、移行できなかった県独自帳票の作成等を県信用システムとして運用してきました。

当該システムの中でも口座取引履歴の出力依頼は、「JASTEM」へ移行するまでに蓄積された4億件以上の取引履歴データを格納した磁気テープ(CMT)からCOBOLアプリケーションにより長時間かけて対象データの抽出を行い、口座取引明細書を作成していました。

香川県下にあった46JAが合併して1JAとなりましたが、多数のCTMが合併前のまま散在しており、店舗から口座取引明細書の出力依頼を毎日のように受けて長時間のバッチ処理を行うため、運用コストが問題となっていました。また、COBOLによるプログラム開発において、要員不足が発生した場合に外部要員の確保と高いコストが問題となっていました。メインフレームを使い続けていました。

しかし、メインフレームの周辺機器(FD、CMT、CLP、およびデータ伝送装置等)の老朽化と、さらに昨今のオープン化の流れの中で、社内に増えてきたオープン系システムとのデータ連携などに不都合が生じて



いました。そこで、2012年にメインフレームのオープン系サーバへの移行を決定しました。

オープン化に伴う主な課題であったデータのコード変換とCOBOLで開発された業務プログラムの再構築においてETLツール「Waha! Transformer」を導入し、ノンプログラムの開発体制を実現、さらにCOBOLプログラムの中で帳票系業務プログラムのマイグレーションと、取引履歴検索システムの構築に帳票&BIツール「Report & Form Warehouse」を利用することで高い開発生産性、保守性、拡張性の確保と開発コストの削減を実現しました。

選定理由

業務プログラム刷新時のデータコード変換や、還元データ加工、データ集計等で活用するETLツールの選定にあたり、各社のトライアル版を入手し評価しましたが「Waha! Transformer」は操作性に優れ、インプット・アウトプットファイル設計書(Excelシート)から簡単にデータ情報を取込むことができました。

そのため、COBOLからの移行が非常にスムーズであり既存の設計

書が活用できたため、保守性を損なうことが無く設計開発の時間を短縮できることが決め手となりました。

また、「Waha! Transformer」は高速でコードの変換抽出を行いDBに直接書き込めるため、大量の取引履歴データ移行にも最適でした。

Corporate Data



株式会社香川県農協電子計算センター
業務部長
阿部 哲也 氏

“ 取引履歴検索システムでは、導入以前の環境に比べアウトプットのスピードが格段に向上したことで、お客様をお待たせすることなく情報提供を行うことが可能になりました。 ”



株式会社香川県農協電子計算センターはJAグループ香川の情報処理センターとして、共用ネットワークシステム、信用事業システム(全国信用システムとの中継、補完システム、県独自システム等)、および関連団体システム(人事・給与システム、イントラネット等)システムの開発・保守・運用管理を行い、JA香川県の販売・購買システム等の運用管理を行っています。

名称：株式会社香川県農協電子計算センター(略称 JA香川電算センター)
設立：昭和44年8月8日
従業員数：37名(出向・嘱託・臨時を含む)(平成26年7月1日現在)
資本金：4億8千万円
URL：<http://www.cnt-kw-ja.co.jp/>

一方、口座取引明細書は、オープン化に合わせて、DB化した取引履歴データを店舗からBIツールにより検索し、定型帳票を作成する取引履歴検索システムとして再構築することになりました。

今回の再構築時の要件として以下の4つがありました。

- ・ 帳票数：52 帳票
- ・ 店舗数：約 200 店舗
- ・ DB：4 億件以上のデータ検索が短時間で可能
- ・ 処理方法：各店舗から検索して帳票を作成して顧客へ交付

選定にあたり色々なツールを検討しましたが、大量のDBから定型検索、定型の業務帳票を作成することが目的であり、帳票に定型検索などの簡易分析を可能にするBI機能が付加された「Report & Form Warehouse」が他のBIツールよりも費用対効果が優れていたため、導入を決定しました。

導入効果

ETLツールの利用により、スムーズなデータ移行

オープン環境への移行時、「Waha! Transformer」を利用したことでデータの移行作業が非常にスムーズに行えました。

保管データの文字コードをメインフレームのEBCDICからS-JISへのコード変換、並びに、「JASTEM」専用の外字コードを含むS-JISコードからのコード変換が課題となっていました。しかし、「Waha! Transformer」では「JASTEM」コードが実装されており効率的にコード変換を行うことができました。

さらに、「JASTEM」還元データの取込みには、信用補完パッケージが提供されフラットファイル作成、DB登録などを容易に行うことができます。

システム再構築でパフォーマンスが格段に向上

また、「Report & Form Warehouse」を利用した帳票基盤と取引履歴検索システムでは、レポート、帳票を1つの基盤で一元的にカバーしウェブ・レポートを簡単かつ迅速に作成でき、入力画面を独自開発し、

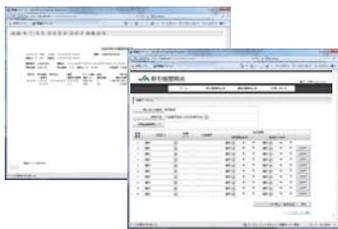
シームレスなオンライン情報活用基盤を構築することができました。業務帳票等の基盤ツールとして活用することが可能となり、BI機能を利用した多彩なレポート作成や情報活用も実現できるため、開発範囲が広がりました。

「Report & Form Warehouse」の特徴的な機能として、多彩なレポート表現、ダイナミックなレポート機能、セキュアで分かりやすいレポート・ポータル、二次利用を助ける出力/保存オプションがあり、目的に応じて機能を活用することが可能となりました。

取引履歴検索システムでは、導入以前の環境に比べ、アウトプットのスピードが格段に向上しました。今までは顧客の依頼が発生するとシステム要員1~2人がアサインされ、検索までに半日、実際に顧客にデータを交付するまで1週間ほどの時間がかかっていました。

しかし導入後は、受付担当者がクライアントから、検索キーを入力するとリアルタイムに検索結果が確認でき、内容を確認後、取引明細書を印刷してお客様へ交付することが可能になりました。

再構築した取引履歴検索システム



導入後は、リアルタイムに検索結果が確認でき、取引明細書の即時交付を実現

導入効果

| | 導入前 | 導入後 |
|--------|--------------|-------------|
| 依頼方法 | 依頼書を作成・送付 | 窓口でオンライン検索 |
| 処理時間 | 半日以上 | 数秒 |
| 処理要員 | 1~2名 | 0名 |
| 送付時間 | 1日以上 | なし |
| 内容チェック | バッチエラーリストの確認 | リアルタイムに結果確認 |
| 顧客送付 | 1週間程度 | 窓口対応 |

今後の課題

更なる社内利用の促進へ

今回のオープン化により、かねてからの課題であったMO、CD、DVDなどのオープン系メディア機器の対応、磁気ディスク装置(HDD)容量の拡大なども解決しました。

新たに移行、構築したシステムは以前と比べ、パフォーマンスが劇的に向上し、メンテナンスの生産性と拡張性が改善しました。

今後の課題としては、いまだ継続利用しているCOBOLアプリケー

ションの効率的な保守管理を行うため、「Waha! Transformer」や「Report & Form Warehouse」を利用したアプリケーションへの移行を進めるとともに、新規処理の開発では積極的に利用を推進してきます。

また、2015年7月のWindows Server 2003サポート終了に伴うシステム移行を検討する必要があり、このシーンでも「Waha! Transformer」と「Report & Form Warehouse」を有効活用することができると期待しています。

7月31日(金)はシステム管理者感謝の日！

「トラブルなく稼働して当たり前」と言われるITシステム。その陰には、多くのシステム管理者の方々の支えがあります。この日をきっかけに、会社のITシステムを支えてくださる方々に、感謝の気持ちを伝えてみませんか。

母の日、父の日、システム管理者感謝の日

システム管理者感謝の日は、システム管理者のハードワークと献身に感謝する日として米国で始まりました。日本では2007年に、日本記念日協会に記念日として登録されています。この「システム管理者感謝の日」を日本で記念日にしたのは、実は株式会社ユニリタの前身である株式会社ビーエスピーであることをご存知ですか？

システム管理者の方々は、企業活動が円滑に回るように、システムを安定稼働させ、ネットワークを整備し、セキュリティに心を砕いています。障害が起これば、取引先と頻繁にやり取りしながら眠れない夜を過ごすことも。毎日、家事や仕事に忙しい両親に感謝する母の日や父の日と同じように、そんなシステム管理



者の方々に感謝する文化を根付かせたい。そんな思いで、この日を記念日として登録し、毎年7月に「システム管理者感謝の日イベント」を開催するようになりました。

当社の社内では、この日に毎年、ITシステムを支えてくれる部署の皆さんに感謝の気持ちを込めて、ささやかな贈り物をしています。ぜひ皆様も、会社のITシステムを支えてくださる方々に、感謝の気持ちを伝えてみてください。

● 詳しくは、「システム管理者の会ポータルサイト」をご覧ください。

<http://www.sysadmingroup.jp/>

製品&サービス
最新トピック「Waha! Transformer」の
最新バージョンVer5.0をリリースしました！Waha!
Transformer V5Ver5.0テーマは攻守一体。攻めと守りのITでビジネスの成長を支える国産NO.1 ETL **攻守体**

「Waha! Transformer Ver5.0」は、クラウドなど最新のテクノロジーを活用した“攻”のITと、基幹系システムやインフラの効率化によるコスト削減を行う“守”のITを一体として推進できるこれからのデータ連携基盤を考え、3つの機能強化を行いました。

クラウド 高速で安全なクラウド連携を実現

Skeed社の Silver Bulletに対応した「クラウド転送オプション」を追加

クラウド利用の普及、データの増加にあわせて、オンプレミスクラウド間や本社・事業所間などのデータ連携を高速化しました。「クラウド転送オプション」は、ファイル転送時のネットワーク回線に依存するボトルネックを解消し、ビジネスには不可欠な安全かつ確実なデータ転送を実現します。

帳票 帳票関連のプログラム作成を完全にゼロへ

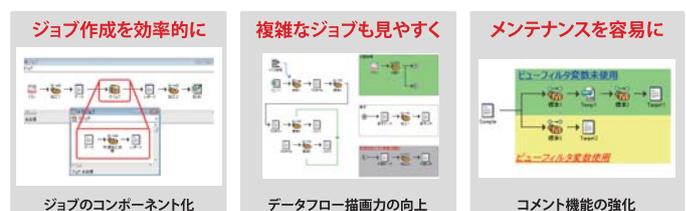
データ抽出加工の出力先はプリンタへ。「レポートオプション」を実装

システムごとに存在するレポート作成、運用後の改修コストを削減するため、新たに「レポートオプション」を実装しました。加工結果を直接プリンタやセキュアPDFに出力することができます。自社製フォームエンジンを搭載し、特に国内で要求される細かな帳票ニーズに対応します。

ユーザビリティ さらなる生産性向上へ

開発画面の機能強化、操作性向上

ご好評をいただいているユーザビリティを強化しました。ジョブのコンポーネント化により、開発工数が削減され早期構築へとつながります。また、データフロー編集画面の表現力向上により、処理のわかりやすさ、明瞭さが増し、データ変換業務の生産性向上だけでなく、資産の継承にも威力を発揮します。



無償
トライアル
30日

新しくなったWaha! Transformerをぜひご体験ください。

Waha! 体験版

検索

Beaconユーザ会では、研究会活動だけではなく情報交換活動も一年を通じて行っています。今回はその一つである「マネジメント研究会」についてご紹介します。

本研究会は、一年を通じた活動への参加が難しい方のために、各地区で年4回開催されます。特に、全国のマネージャークラスの方々を中心に、マネジメントの立場からみた情報システムにまつわる最新的话题を幅広く取り上げ、情報交換を中心に開催しています。ユーザ様を訪問し課題解決の事例のご講演、または、話題となっている最新技術や手法をどのようにビジネスに繋げていけるかなどの講演があり、テーマに沿ったディスカッションを行っています。業種業界問わずに様々な立場の方が一堂に会しますので、新しい発見や刺激が得られるばかりではなく、新しい人脈形成の場としてもご活用できます。2014年度も山九株式会社様の『福岡物流センター』の見学や、話題となりました『スーパーコンピュータ「京」』の見学など、普段なかなか体験できない企画を実施しました。2015年度は6月に『柏の葉スマートシティ』見学を実施し、参加者の皆様からご好

評をいただきました。会員の皆様も今後ご共感いただけるテーマがございましたら、是非ご参加ください。

参加者様の声



毎回違うテーマで、グッドタイミングなネタで他社様にお伺いし、見学やお話を聞ける機会はとても刺激になりました。



マネージャークラスの参加が多いが、今後は是非、次世代担う若い方々にも多く参加してもらえればさらに活性化されるのではないのでしょうか。



個人や一企業ではなかなか調整することができない施設や企業に訪問できることは、Beaconユーザ会ならではのと思う。

第130回マネジメント研究会のご案内

日時：平成27年7月24日(金) 11時スタート
場所：北海道（新千歳空港-余市-札幌）
講演：北海道大学大学院情報科学研究所 教授 山本 強 氏
株式会社ビーティス 代表取締役社長 高野 元
見学：ニッカウキスキー北海道工場余市蒸溜所

今回は5年ぶりに北海道での開催となります。講演をはじめ参加者同士の情報交換や懇親会を企画しています。



第32回Beaconユーザシンポジウム
プラチナパートナー様のご紹介



ソフトウェア・エー・ジー株式会社様



アジアパシフィック日本担当 パイスプレジデント
セールスエクゼクティブ フルース・ペドー氏

シンポジウムに参加した感想

私どもソフトウェア・エー・ジーは、2014年にユニリタとDigital Business Platformの製品を扱うパートナーシップを締結いたしました。シンポジウムは2年続けての参加となります。2年ともパートナーセッションは75名を超えるお客様にお聞きいただき、ブースにはセッションをお聞きになられた多くのお客様が「製品を具体的にを見せてほしい」とお立ち寄りくださり、多くの情報提供や情報交換をさせていただきました。非常に感謝しております。

ユニリタとの連携ソリューション

例えば、当社のwebMethodsは、ESB製品ですので基本はなんでも繋ぐ連携機能があります。その連携機能でお客様のお役に立てるDigital Business Platformに関わるソリューションを順次ご提供していく所存です。

WEBMETHODS by Software AG

ARIS by Software AG

APAMA by Software AG

TERRACOTTA by Software AG

今後のユニリタへの期待

ユニリタとソフトウェア・エー・ジーは、強く機敏な Digital Business Platform の実現を確実にするため、世界水準のスキルを習得し続けます。Digital Business Platform の価値について、ユニリタのチャンネルを通じ、多くのお客様へその価値を提供し、多くの事例を獲得することでしょう。また、ユニリタとソフトウェア・エー・ジーには長くて豊かな歴史があります。お客様のために、共に新たな価値を発信し続けていきます。

● 詳しくは、「Beaconユーザ会ホームページ」をご覧ください。

<http://www.beaconuser.jp/>

ウェビナーユニリタがパワーアップ!

～様々な角度から、よりわかりやすく、より見やすく、そして探しやすい～



ユニリタグループでは、昨年5月から、動画配信サービスを利用した課題解決型のウェブセミナー（※通称ウェビナー）を配信し、延べ視聴者数4,000人以上の皆様にご支持いただいています。このたび、視聴者の皆様の更なるご期待やご要望に応えるべく、先にリニューアルしましたユニリタホームページと連動し、配信コンテンツの充実と視聴性のアップを図りました。また気になる製品やサービスを分かりやすくご説明するため、ウェビナーを大幅リニューアルしました。

ポイント1 ～よりわかりやすく～

ユニリタグループを代表する、新進気鋭のセミナー講師陣による「課題解決」プログラムの配信を開始しました。市場動向や専門知識に加え、講師自身が直接お客様と対話し得たノウハウをもとに、「情報戦略」「構造改革」「品質向上」「効率化」「人材の強化」「ガバナンス」の課題を30以上の着眼点で切り込み、具体的な解決策をご紹介します。

真の顧客統合!
なぜ「統合CRM」か?
～ホールディングス傘下各社横串
での情報活用を～

奥村 誠悟



今、企業が取り組むべき
情報漏洩対策とは?

佐々木 勉



電子化、ペーパーレス化に潜む罠、
本当に紙やコストは
削減できていますか?

小柳 晶

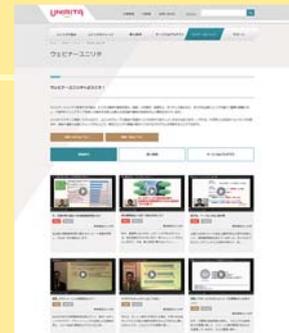


ポイント2 ～より見やすく～

プログラムのひとつひとつを見直し、画質、音質の向上、テキストの見直しを行いました。最新のコンテンツはもとより、既に配信中のコンテンツも新たに制作するなど、視聴性の向上にこだわりました。

ポイント3 ～より探しやすい～

これまでのセミナーやイベントから独立し、ウェビナーユニリタとして配信ページも大幅リニューアルしました。ウェビナーユニリタの動画が一目でわかる「ギャラリー」を設置したことにより、見たい動画をすぐに探せるよう改善しました。また、従来のチャンネル区分から、「課題解決」「サービス＆プログラム」「顧客事例」のカテゴリで区分、各製品やサービスのページとも連動し、欲しい情報が探しやすくなりました。



今後もパワーアップを続けるウェビナーユニリタにご期待ください!

ウェビナーユニリタ

検索

株式会社ユニリタ www.unirita.co.jp



| | | | | |
|--------|-----------|-----------------|-------------------|------------------|
| 本社 | 〒108-6029 | 東京都港区港南2-15-1 | 品川インターシティA棟 | TEL 03-5463-6383 |
| 大阪事業所 | 〒541-0059 | 大阪市中央区博労町3-6-1 | 御堂筋エスジービル | TEL 06-6245-4595 |
| 名古屋事業所 | 〒451-0045 | 名古屋市西区名駅3-9-37 | 合人社名駅3ビル(旧48KTビル) | TEL 052-561-6808 |
| 福岡事業所 | 〒812-0013 | 福岡市博多区博多駅東2-2-2 | 博多東ハニービル | TEL 092-437-3200 |

ユニリタグループ 株式会社アスベックス / 株式会社ビーティス / 株式会社データ総研
備実必(上海)軟件科技有限公司 / 株式会社ビーエスピーソリューションズ